

ヒストンメチル化酵素EZH1/2の二重阻害による革新的がん根治療法の開発



■期待される成果

難治性造血器腫瘍の維持に必須であるヒストンメチル化酵素の阻害剤を開発し、再発のない根治療法を実現する。

■想定される実用化の時期 平成32年頃

■代表機関・課題リーダー

国立がん研究センター・北林一生

■実施機関

国立がん研究センター・東京大学・第一三共

■実施期間

平成27年10月～平成30年3月

■シーズの内容

・ヒストンメチル化酵素EZH1/2二重阻害剤によりポリコーム抑制複合体2の機能を阻害し、難治性造血器腫瘍を治療する

